

仕 様 書

I 名称 ナガスクジラ骨格加工（分離骨格）業務

II 期間 契約締結日～平成27年3月31日

III 標本名 ナガスクジラ全身骨格
(発見時の状況：雌、体長17.4m 体重約22t)

IV 骨格加工仕様

A 標本の受取り、移送

指定する保管場所（東京都内）で受取る事。受取りに当たっては標本の状態、部位数量などの確認、記録を行う事。

B 埋設、保管、管理

砂場を用意して、骨格を部位ごとに並べて埋設保管する。紛失の無いよう部位ごとプラスチック網で覆う事。重機を使用する場合は、骨格が破損しないよう配慮する事。砂場は水はけの良い状態に保ち、砂中のバクテリアが増え、活動できるよう保つ事。3～4カ月毎に骨格の脱脂状況を確認する事。

C 埋設した骨格の掘出し

骨格の脱脂状況を確認後、慎重に骨格を掘出す。掘り出した骨格は除砂、水洗を行う掘り残しが無いかの確認を行う事。

D 油抜き、さらし加工

温水槽で油抜き、さらしを行う事。脱脂効果を高めるために合成洗剤及や油脂分解酵素を用いる事。

脱脂し過ぎる事の無いよう脱脂状況を確認しながら、水洗を行う事。

水洗後、日陰で乾燥させる事。

E 強化処理加工

アクリル樹脂系含浸材（パラロイドB-72）のアセトン溶液を用いて含浸強化処理を行う事。

骨の自然な質感を失わないよう強化液の濃度を調整する事。

F 破損部の補修

破損やひび割れがある部分には現状維持のための補修を行うこと。

使用する補修材料はエポキシ系樹脂、アクリル系接着剤を用いる事。

なお、骨格に発掘時以前に生じていたと考えられる大規模な損傷があり、その修復に通常の骨格加工作業の範囲を超える作業が必要と判断される場合には、国立科学博物館の研究部担当者および財務担当者と協議の上最善の措置をとることとする。

G 納品

チャーター便にて国立科学博物館筑波地区内の指定場所に搬入する事。

V 製作場所

製作者の作業場

VI 成果品

- | | | |
|------------------|---|---|
| 1)ナガスクジラ全身分離骨格標本 | 1 | 点 |
| 2)作業工程写真 | 1 | 点 |

VII その他

仕様書に記載のない事項、また疑義を生じた場合は、その都度担当者と協議の上その指示に従う事。

以上